

◆日本共産党創立104周年。歴史の岐路に希望の明日を切り開きます。

休日当番病院・医院

10月4日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター
旭町 32-0099
 - ◆外科 苦小牧東部脳神経外科
北栄町 53-5000
 - ◆歯科 なか歯科医院
拓勇東町 52-0800
- 診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。変更への対応ができませんので、ご利用の際は電話でお確かめ下さい。

法律相談

10月26日(月)
橋本 祐樹 弁護士
(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込56-5002

日本共産党 民主 苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

〒053-0855 苦小牧市見山町2丁目2-6 電話 56-5002 Fax 56-5086
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp/>
苦小牧地区委員会のホームページ <http://jcp-tomakomai-shigidan.com/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

道民理解進まないカジノ誘致は断念すべし

総合開発特別委 小野寺議員 道のIR「基本的な考え方」改定で質疑



ついで「丁寧に進めていく」と求められ、十分な検討期間が必要」「段階ごとに検討を重ねていく」として、北海道は慎重な姿勢を示しており、来年の申請に間に合わない可能性が有ります。

小野寺委員は、北海道新聞が行った意識調査では、IR誘致に「反対」が61%だったことを示し、「8月に私たち道庁に行った時も、道民理解が課題だと言っていたが、どのように理解をはかるのか具体的にはないと言っていました。道新の調査結果からも、来年5月までに道民理解が得られるとは思えない」と指摘しました。

金澤市長は、「どのように理解が得られるのか、やってみたいとわからないが、道も市も、道民の理解促進をしていかなければならない」「市として知事が判断できる環境づくりをしていきたい」と答えました。

◆依存症対策は不十分

ギャンブル依存症対策もまだ不十分です。道内の依存症患者7万3千人と言われるな

はIRをきっかけに依存症対策の財源や体制などの強化を進めるべきとの意見もある」と答弁。小野寺委員が、「市長も同じ考えなのか」とたたきつけたのに対し、金澤市長は、「医師の協力も必要だが、入場制限や日数制限などの依存症対策もある。加えて専門家の体制を整えて対策を構築するべき」と答弁しました。

小野寺委員は、「市長の答

は他人事で無責任だ」と指摘。「来年の統一地方選挙を前にして、道民を分断するようなIRを、知事が進める判断をするとは思えない。公約だといって、誘致に前のめりの市長の姿勢は恥ずかしい」と強調しました。

いっしょにやろう！ 2027年版

好評発売中 1650円(税込)

世界中の子どもみんなに平和とあわせをねがう「いわさきちひろカレンダー」2027年版が好評発売中です。A2判の大判カレンダーで1650円(税込)。絵は7枚で、表紙は「しゃぼん玉を吹く少女」です。部屋を華やかに落着かせ、贈り物にも喜ばれています。



日本共産党綱領・規約と憲法をいつも持ち歩ける「赤旗手帳」の2027年版が20日から発売されます。カバーをやめ、メモページを増やして使いやすさをアップし、定価1000円(税込)です。カバー素材の高騰と不安定な供給が続いているため、カバーの付属をやめて、表紙にPP加工を施し、定価を下げました。2026年版のカバーを付け替えて使うことができます。カバー単体の別売(350円)もあります。個人注文となります。

来年の党大会で綱領改定がされた場合、新しい綱領は、手帳に挟み込めるミニ冊子を作成し、後日送られてきます。

核兵器禁止条約の批准を
大軍拡反対！
外交で平和を
日本共産党

返済の重み 救済策を急げ

森本市議 奨学金金利急騰で支援強化求める



4年間(計480万円)借り、20年間で返還する場合、返還総額は約646万円、利子だけで約166万円になります。

森本議員は、利率が貸与終了時の金利情勢で決まるため、「学費や奨学金制度は、国が責任をもつべきものだ」と考えます。給付型・無利子奨学金の拡充と、急激な金利上昇による返済負担を軽減する仕組みをつくるべきと国に求めるべきです」と迫りました。

森本議員は、市独自の返還支援についても、年間の助成上限の引き上げや支援期間の延長を求めました。市は、物価高や金利上昇で就職後の若者の返還が厳しくなっているとの認識を踏まえ、財源上、一自治体だけの対応には難しさがあるとの説明。「若者の地元定着に現在の支援が役立っているかを検証し、27年度中に制度の継続やあり方を判断したい」と答えました。

子どもたちに平和残す決意歌う 「わたぼうし」 全国祭典に推薦

道内各市持ち回りで開催されている「北海道のうたごえ祭典」が9月21、22の両日、新築の苦小牧市民文化ホールで開かれ、400席が満席となる活況となりました。

初日の「合唱・創作発表会」には31団体が出場し、11月の「日本のうたごえ祭典 in ながさき」への推薦権をかけて競われました。

2日目の「音楽会」冒頭、開会あいさつした出雲路英淳実行委員長は、苦小牧市が非核平和都市条例をもち、今年

第1部では、「樽前ばやし」が力強い太鼓の3曲を響かせ、この日のために組織された「市民合唱団」が「翼をください」「この地球のどこかで」を披露。第2部の「大うたう会」では会場いっぱいの歌声

交流となり、おなじみの歌や歌声運動の中で生まれた名曲を歌いかわしました。音楽家

の川島沙耶さんが特別出演し、オペラアリア「誰も寝てはならぬ」を澄み切ったソプラノで会場を圧倒しました。



第3部の全道合同合唱では、女声合唱で「あの鐘を鳴らすのはあなた」「忘れない」を披露、男声合唱では労働組合運動の弱体化を狙った国鉄分割民営化の嵐の中で創られた「その日のために」「凍える街に」を高らかに響かせました。祭典記念合同合唱では長野祭典でも歌われる支配者に抗した奄美諸島の島唄を背景に、「びろうと葉帽子の下で」、そして「子どもは・・・」では「子どもたちに平和で安全な日本を残す決意」を歌い上げました。

苦小牧うたごえサークル「わたぼうし」は「合唱発表会・一般の部B」「創作発表会」とともに全国祭典に推薦されました。

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこが

日刊 3497円
日曜版 990円



補聴器助成が 介護保険で?

こんにちは
小野寺ゆきえ です

担当します。

2025年度決算委員会が9月28日から始まり、私は、国民健康保険や介護保険、上下水道、市立病院などの企業会計を

特に介護保険は、来年度からの新たな介護計画を創る時期なので、今回の決算が重要になります。施設や介護人材は不足していないか、保険料や利用料の負担は重くないかなどをチェックすることで、次期計画に反映できます。

市民のなかから「補聴器購入の助成をしてほしい」という声が多く、共産党は議会でも実施を求めてきていますが、市の答弁は「次の介護保険計画のなかで検討する」ということでした。

私には、補聴器助成と介護計画の接点が理解できませんでしたが、担当の職員さんに聞いてみると、介護計画に補聴器助成を盛り込み、保険給付費で賄う予定だということでした。市民に負担していただいている介護保険料で助成するということが

高額の補聴器に対して、他の市町村では数万円と少額の助成ですが、知内町は片耳8万円です。私たちは、知内町並みの助成を求めています。介護保険制度は、介護を使えば使うほど、保険料が高くなります。高額な助成は介護保険料の値上げにつながります。「なぜ一般会計を使わないのか」と聞くと、市は「財源確保が難しい」という回答。ということとは、介護保険料は高くなっても良いということでしょうか。この視点も含め、決算委員会に臨みたいと思います。

◆「憲法9条改悪に反対する請願署名」にご協力をお願いします。